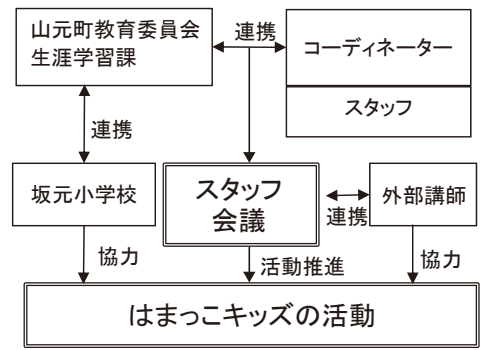


# 放課後の児童の活動支援と居場所づくりです。

宮城県山元町	● 活動名	● 関係する学校名
	放課後子ども教室「はまっこキッズ」	山元町立坂元小学校

開始年度	平成 17 年度	学級数	8 学級	生徒数	100 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	● 連携型	(連携状況) <input type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 定期的に <input type="checkbox"/> イベントがある時 <input checked="" type="checkbox"/> 活動場所を共有 (共有の活動場所)	連携なし	子供の参加人数	18 人
統一的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	実施場所	施設名：小学校 実施場所：視聴覚室・体育館 等
ボランティアの数	登録人数 13 人	属性	地域住民	学習活動の有無	有
参考 URL	http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/kosodate/2670.html				

● 体制図



● 連絡先 山元町教育委員会生涯学習課 ☎ 0223-37-5116

● 活動の概要・経緯  
平成 17 年度、放課後児童クラブのなかった中浜小学校を活動場所として、生涯学習課が主導し、放課後子ども教室「はまっこキッズ」を開設した。地域のボランティアをスタッフとして、生涯学習課、学校と相談しながら計画を立て活動をしてきたが、平成 23 年 3 月の東日本大震災で中浜小学校は甚大な被害を受けたため、近隣の坂元小学校との併設状態となった。その後、平成 25 年 4 月には中浜小学校と坂元小学校が統合する。併設の期間、統合後も坂元小学校を活動場所として事業を継続実施し、今日に至っている。はまっこキッズで児童と関わることで、震災後の地域コミュニティ再編につながっている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- ① コーディネーターを中心としてスタッフの創意工夫を生かしながら企画と運営を進めている。
- ② スタッフや地域ボランティアの特技を生かしたり、スタッフが連携したりしながら活動を推進している。
- ③ 地域の産業、地域の伝統芸能、地域サークル活動などの地域素材に児童が触れ、体験できる活動を実施している。
- ④ 近隣小学校で実施している放課後子ども教室スタッフとの情報交換、合同での研修等、協力体制を築いている。
- ⑤ 長期休業中の特別開催として、近隣教室と合同で「夏休み親子クッキング教室」を開催している。
- ⑥ 坂元小学校各教室、近隣公会堂、外部協力者農園等、内容に合わせて活動場所を工夫している。

### 【実施にあたっての工夫】

- ① コーディネーターと生涯学習課の協議を基におおよその活動計画を立案し、スタッフ会議を開くようにしている。
- ② 地域素材を活用することで、児童が地域の良さに気付くことができるよう配慮している。
- ③ 2 か月単位の活動計画を立て予定表を配布することで、参加児童、スタッフ、学校に見通しをもってもらうようにしている。
- ④ 活動開始前にスタッフミーティングを行うことで、活動が円滑かつ安全に進めることができるように配慮している。
- ⑤ 活動開始時に放課後子ども教室の約束を確認することで、ルールを守り楽しく活動することの大切さを教えている。
- ⑥ 放課後児童クラブと連携することで、両方に登録している児童の放課後活動の様子を把握するようにしている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- ① 放課後子ども教室を休む児童が少ないことや「今日は何をするの?」と尋ねる姿から、児童が活動を心待ちにしていることがわかる。
- ② 児童がスタッフと進んで関わることで、地域の方々とコミュニケーションをとることが上手になった。
- ③ 児童の満足感がスタッフに伝わることで、スタッフのやりがいと次の活動への意欲の高まりへとつながった。
- ④ 震災直後は大きく深い悲しみの中で生活だったが、児童や地域の方々の明るさが生まれ、コミュニティの再編につながった。
- ⑤ 児童が地域素材や伝統芸能に触れる貴重な機会となっている。

## ● その後

学習支援の内容は、児童の自主学习、プリント学習等の取組内容確認、つますきへの対応が主な内容である。



日本の伝統楽器「大正琴」に挑戦



「夏休み親子クッキング教室」で楽しく料理

ポイント

放課後子供教室が震災後の地域のコミュニティ再編に結び付いたのは本当に素晴らしく、地域で子供を育てることが、地域を育てることにもなっていることを証明する好事例だと感じます。